

<附属小学校の研修>

クラスの中の友だちとの関係がうまくいっていない。つながりが表面的で安心して話せない。頑張っている人が認められない。どんなにすばらしい授業をしても、そんな学級集団（学年、学校）では子どもたちは学習内容の定着はもちろん、自分の力を十分発揮できません。

本校では、子どもたちが「安心」して過ごせる学級、学校が学習の下支えになると考え、優れた理論のもと実践・検証されてきた事例を取り入れたり、本校の実情に合わせてブラッシュアップしたりすることを研究しています。そして、それを基盤に子どもたちの「活力」を生み出すような英語を中心とした各教科の授業の研究、更にそこで身に付けた力を「発展」させる研究も行っています。

大学の附属という強みを生かし学部や教職大学院の理論や知見も得ながら研究を進め3年目に突入しています。今年は中学校との連携も充実させていく予定です。落ち着いた中にも真剣に学ぶ子どもたちの姿に研修の成果を感じながらもより高見をめざし、研究と修養を積んでいきたいと思ひます。

グローバル社会を生きる力の育成

活力（英語・各教科） コミュニケーション力の育成

- 知識・教養に基づき、論理的に考え伝える力
- 英語力（語学力）

発展（総合） 地域と繋がる絆の育成

- 大分県や日本への深い理解

安心（フリートーク、成長ノート、価値語、褒め言葉のシャワー） 強くしなやかな心と体の育成

- 多様性を受け入れ協働する力
- 挑戦意欲と責任感・使命感

教育の活動の目的と本質を考えることのできる教員集団

教職大学院の理論・知見

グローバル人材とは

- 挑戦意欲と責任感・使命感
- 多様性を受け入れ協働する力
- 大分県や日本への深い理解
- 知識・教養に基づき、論理的に考え伝える力
- 英語力（語学力）

大分県教育委員会 「大分県グローバル人材育成推進プラン」より

ほぼたきHP版

大分大学教育学部

附属小学校

平成29年4月4日

春休み。安心して活力あふれる学校にするために先生たちはこんな過ごし方もしています。

4月4日(火)附属小学校の体育館で大分消防局の救急救命士の方にお招きし、救命救急講習を行いました。「備えあれば患いなし」で実際に事故が起きたときなどの対応のシミュレーションも行いました。この講習や訓練の成果が実際にいかされないことを祈りつつ、全員で真剣に取り組みました。



子どもたちの自慢のキラキラ掃除をグレードアップさせるために先生たちでお掃除研修を行いました。担当の久保先生を中心に新しく赴任されてきた先生方に実際に掃除をして見せました。お掃除場所ごとの指導のポイントや子どもたちが自分たちで考えて動くようになる掃除にするにはどうすればいいかなども熱心に話し合われました。

